

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書（変更計画書）

令和3年12月8日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県彦根市平田町808

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

株式会社 千成亭風土

代表取締役社長 上田 健一郎

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（~~第20条第3項~~・~~第20条第4項~~・~~第22条第1項~~・~~第22条第2項~~において準用する同条例第20条第4項）の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	株式会社 千成亭風土 代表取締役社長 上田 健一郎
事業者の住所 （法人にあっては、主たる 事務所の所在地）	滋賀県彦根市平田町808

・環境管理担当者 環境事務局

事業所の名称	株式会社 千成亭風土 ※店舗も含む					
事業所の所在地	滋賀県彦根市平田町808					
主たる事業	細分類番号	0	9	1	2	肉加工品製造業
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

1 計画期間

計 画 期 間	2021	年度	～	2027	年度
---------	------	----	---	------	----

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

千成亭風土は、環境や食品リサイクルへの取り組みを「従来の社会貢献活動の一つ」という位置づけではなく、「企業の業益を左右する重要な要素」と捉えていることから、「循環型社会の実現」を重点項目として環境に配慮した継続的な取り組みを行っております。

千成亭風土 環境経営方針

《基本理念》

地球温暖化対策及び循環社会の構築が環境問題の最重要課題であることを認識し、これらを実現するために全組織を挙げて環境への負荷の削減と環境への取り組みを推進します。

《方針》

食品関連事業者として、全ての活動、製品およびサービスを提供するに当たり、低炭素経済と最適消費・最小廃棄の社会である持続可能な循環社会を構築するため、以下の循環経営活動を推進します。

1. 当社の活動、製品およびサービスに係る環境負荷を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに環境経営活動の継続的改善を図ります。

2. 当社の活動、製品及びサービスに係る食品リサイクル法、容器包装リサイクル法等環境関連法規を遵守します。

3. 当社の活動、製品及びサービスに係る環境負荷の内、以下の項目を環境管理重要テーマとして取り組みます。

①電力・ガス・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

②再生利用等の実施率向上及び食品リサイクル及び食品廃棄物を含む総排出量の削減

③水の使用量及び総排出量の削減

④簡易包装の訴求に伴う容器包装使用量の削減

⑤食肉原材料及び事務用品のグリーン購入の推進

⑥製造及び販売プロセスのグリーン化(環境配慮)の推進

⑦飲食のグリーンサービスの提供の推進

⑧生物多様性の保全と持続可能な利用のための取引推進

4. 一人ひとりが環境負荷削減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに社外へも公表します。

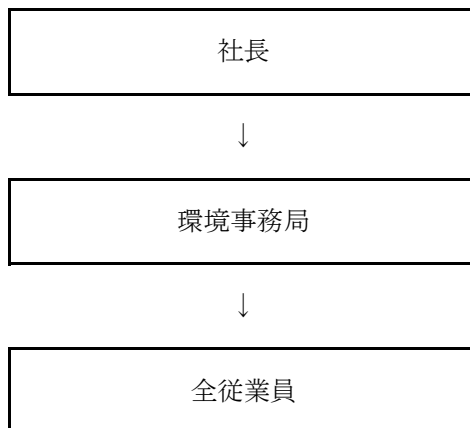
上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、環境経営システムを推進します。

(2003年12月制定、2019年7月改定)

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

・環境管理責任者 代表取締役社長 上田 健一郎□

・環境管理担当者 環境事務局



(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

- 食品加工時の廃棄物の再利用化を図り、単純廃棄による二酸化炭素を削減した。
- 食品加工技術の向上を図り廃棄物の削減に努めることにより、廃棄物の量を削減した。
- 太陽光発電を導入し売電のみならず自社利用も開始した。
- 照明設備を省エネタイプに更新した。
- 冷蔵庫、冷凍庫のドア回りに隙間を埋める資材を装備し、保冷維持に努めた。
- 冷蔵庫・冷凍庫の温度推移を分析し、設定温度の適時管理を徹底した。
- 不必要時の消灯、空調温度の適正化。
- エコドライブの推進、適正な車両管理。
- ガス利用時の火加減の調節。ガスエアコンの適正な温度調節。
- 薪ストーブの設置(本社食堂)

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1 運用対策	夏季・冬季のエコスタイル、空調温度の設定を各部署・店舗に合わせ適正管理、照明間引き、OA機器の節電(離席時の電源オン、オフ、スタンバイ設定)等のエコ店舗づくりの実施。温室効果ガス排出量の削減目標を経営計画に盛り込み、高い意識で取り組む。	2021～2027年度
2 設備導入	店舗の空調機、照明設備の入れ替え	同上
3 設備導入	環境対応車への切り替え	同上
4 運用改善	省エネ診断の実施	同上
5 運用対策	電力供給会社を再エネルギー100%の会社への切り換え	同上
6 運用対策	空調・冷蔵冷凍庫の室外機のファンの定期的な清掃、サークルーターの併用	同上
7 設備導入	店舗入口にエアカーテン導入・低電力型PCの導入・厨房機器を高効率機器への変更	同上

(2・環

温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1	エネルギー起源CO ₂ 以外の温室効果ガスの排出はございません。	
2		
3		

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

・千成亭風土は事業活動における中長期のCO₂排出量削減目標(原単位ベース)を2030年度に2013年度比37%削減としています。

・下記計画に沿って、2027年度に2013年度比34.2%削減を目指します。

※原単位=『CO₂排出量(t-CO₂)』÷『生産量(精肉、食肉加工量:t)』 = 『t-CO₂/t-生産量』

2013年度比較削減率

項目	実績	目標									
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
CO ₂ 排出量の削減率(原単位)	27.2%	28.2%	29.3%	30.3%	31.3%	32.3%	33.3%	34.2%	35.2%	36.1%	37.0%

・温室効果ガス排出実績は排出係数を基準年(2013年度)で固定化して算出。(CO₂排出係数:0.475kg-CO₂/

・2013年度実績:『t-CO₂/t-生産量』=3.55

・2020年度実績は、2013年度比27.2%の削減を実施。

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	食品ロス削減	ロスの無い一括製造、生産工程時間の短縮	2021～2027年度
2	物流効率化	配送ルートの見直し、多頻度配送の縮小	同上
3	省エネ対策	店舗でのグリーンカーテンの設置	同上
4	環境ボランティア	環境活動「富之郷里山クラブ」での間伐作業	同上
5	リサイクル	金属・ガラス・紙・ゴミのリサイクル	同上
6	包装資材の削減	容器包装使用量の削減	同上
7	水資源の削減	水道設備に節水コマを導入	同上
8		以下余白	